

糖尿病犬および猫に対する 荷花掌の効果

このスライドは、日本獣医内科アカデミー学術大会、動物のサプリメント研究会での発表資料(2006.8.13)を公表いただいた日本獣医生命科学大学 左向敏紀先生のご承諾を得て、ご提供するものです。

ただし、より見やすくするために以下を変更しています。

背景のデザインを別のテンプレートに変更

写真をカット(容量節約のため)

また、一部2ページを1ページにまとめた など

以上、ご了解いただき、ご一読ください。

株式会社フォーエルズ

藤田友清

目的

自然治癒力を高める伝統医療として
注目された荷花掌を用いて、糖尿病
犬および猫に対する効果を検討する。

材料および方法

◆供試動物

催糖尿病物質により作出したインスリン依存性糖尿病犬5頭 (IDDM)

◆供試薬

有効エキスを抽出した動物用サプリメントである

「Nikasyou Herb」

投与量: 20mg/10kg

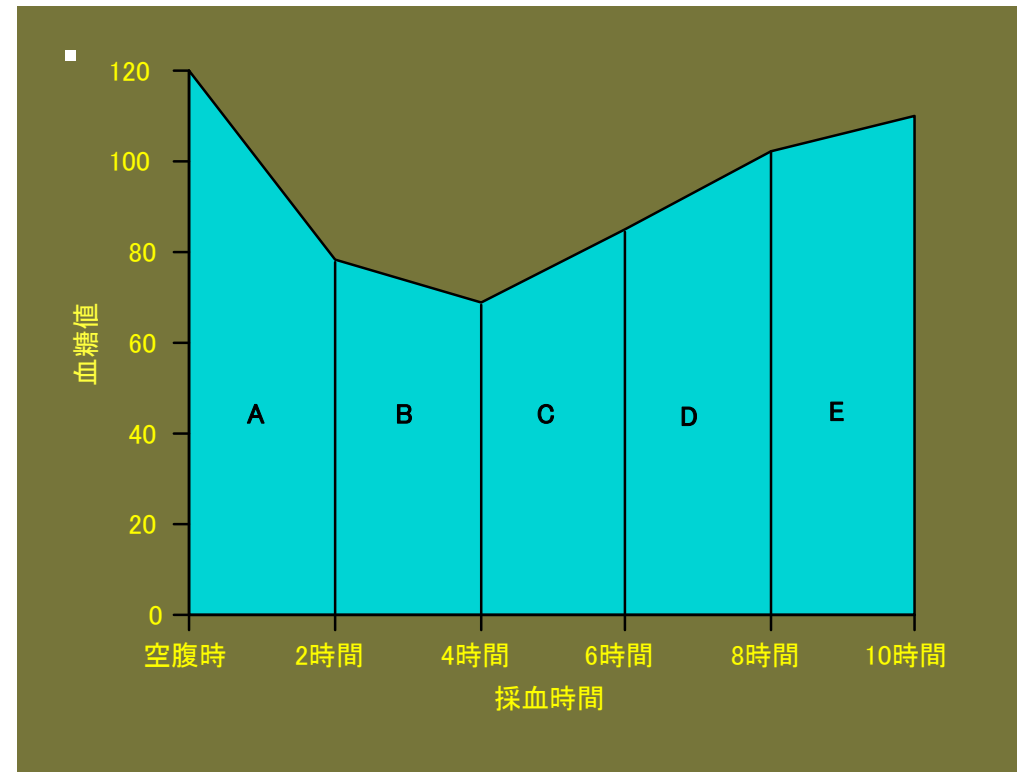
投与方法: 4週間、1日1回、
食事摂取直後に経口投与

AUCの算出方法

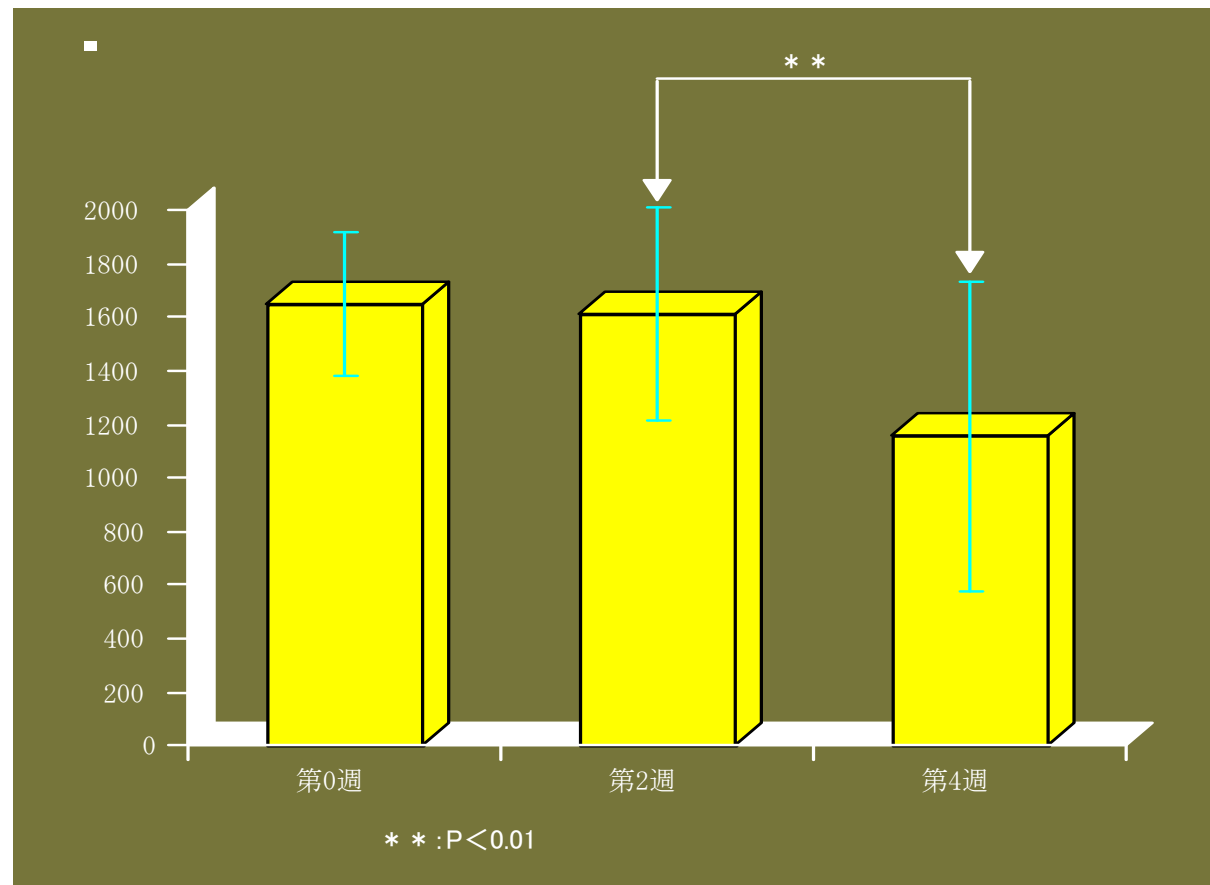
◆AUC ($\sum \text{glu}$)の算出方法
食後の血中グルコースの上昇程度を目安として算出。

ある採血時間から次の採血時間までにグルコースの値によって構成される面積を累積した値とした。

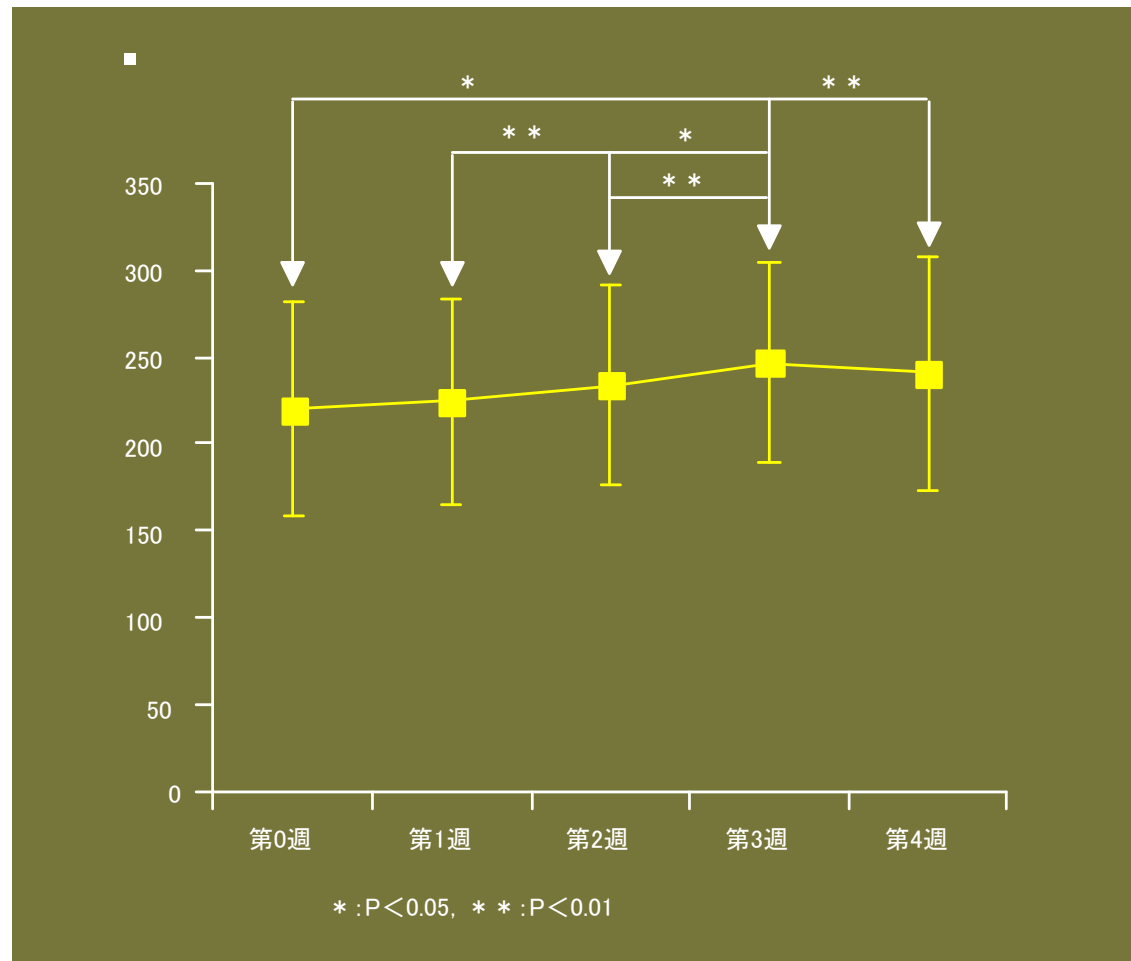
$$(\sum \text{glu}) = A+B+C+D+E$$



荷花掌投与におけるAUCの推移



荷花掌投与におけるT-choの推移



結果

- ◆ AUC (Glu) : 有意な低下 ($P < 0.01$) がみられた。
- ◆ T-cho : 投与前に比べ有意に上昇した。
- ◆ 2/5頭にインスリン投与量の低下が認められた。

考察

- ◆IDDM犬に対し、**インスリン投与量の節約**が可能であると考えられる。
- ◆T-choの増加は、**肝臓での合成亢進**が考えられ、**肝機能の改善**を示唆するものと思われる。

猫糖尿病症例

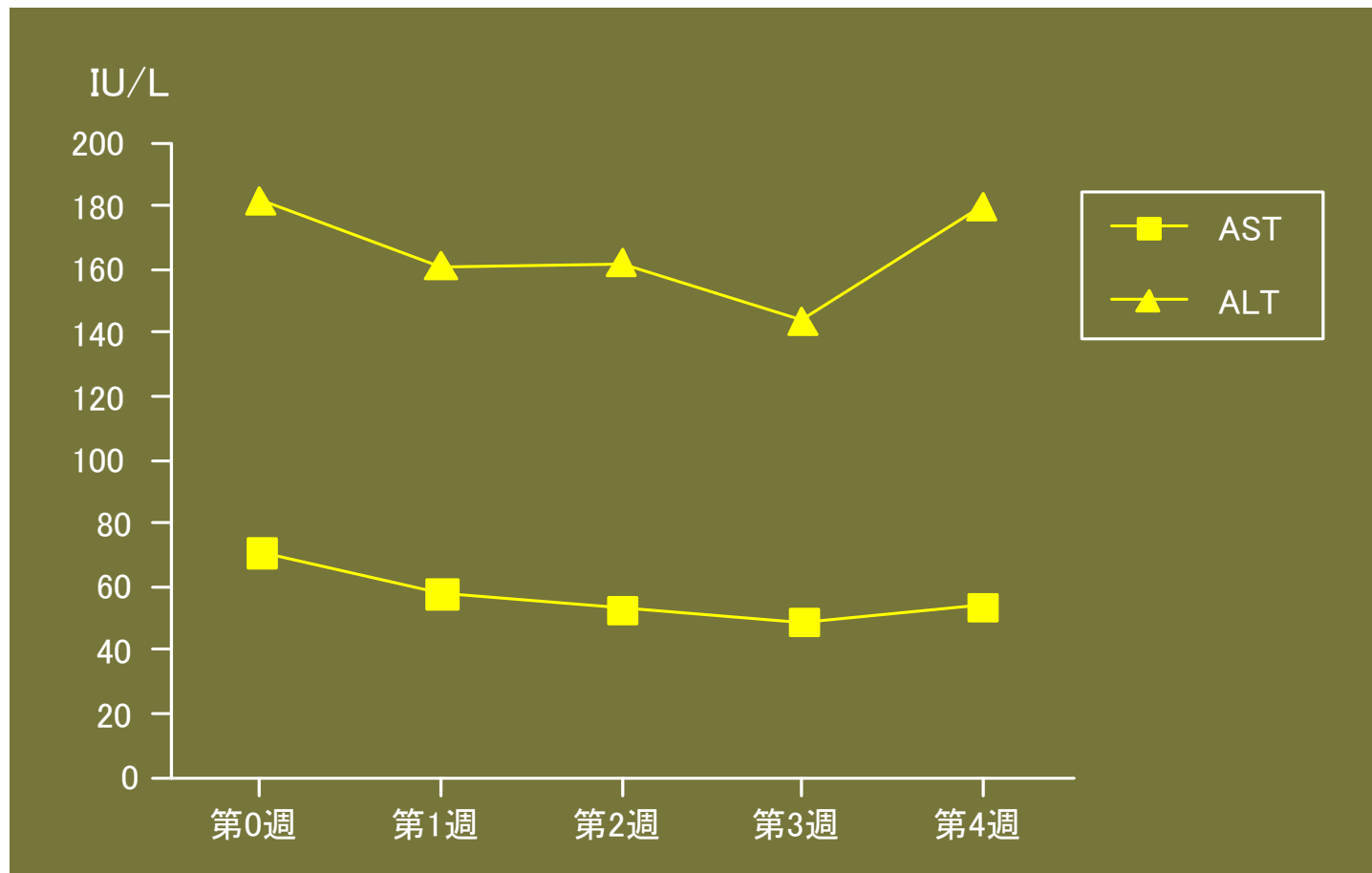
10歳齡

去勢雄

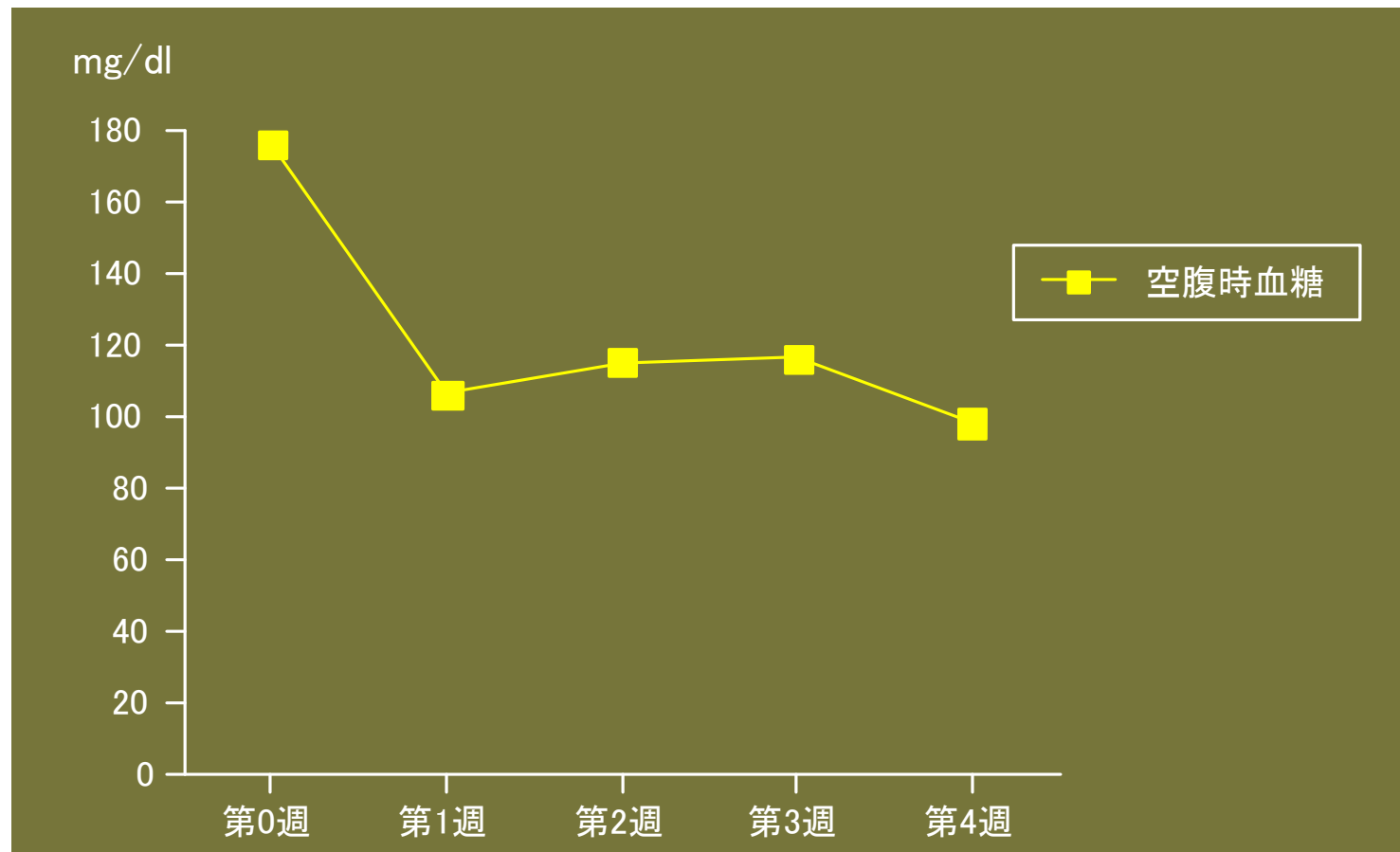
日本猫雜種

体重 5.5kg

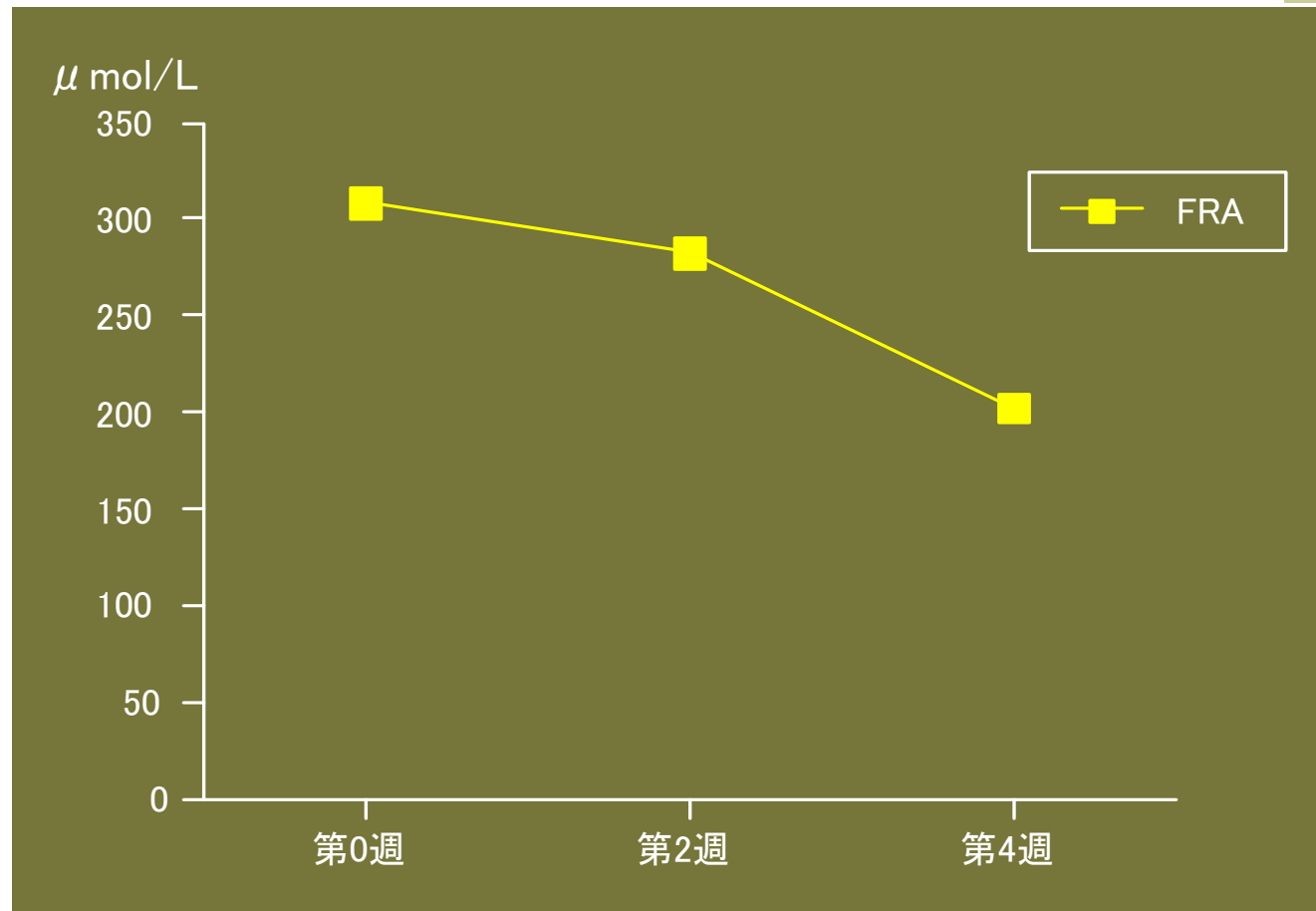
荷花掌投与における肝酵素の推移



荷花掌投与における空腹時血糖の推移



荷花掌投与におけるFRAの推移



結語

1. 荷花掌投与により肝酵素が減少したことから、肝機能が改善した。
2. インスリン作用の改善により、糖尿病の症状(高血糖・高脂血症)が改善された。

小動物の肝疾患等における ニカシヨウの有効性について

目的

- ◆ 肝機能障害を疑う症例に対し、肝臓比護を目的に、「Nikasyou Herb」を投与し、その効果について検討した。

対象動物

- ◆ 犬症例：肝炎、肝障害、胆泥症、胆嚢炎、副腎皮質機能亢進症と診断された犬25例
 - ・肝酵素の上昇を認め、改善目的
 - ・肝臓保護の目的
- ◆ 猫症例：糖尿病、口内炎、肝障害を疑う11例
 - ・軽度から中等度のALT上昇を認められたもの

供試薬

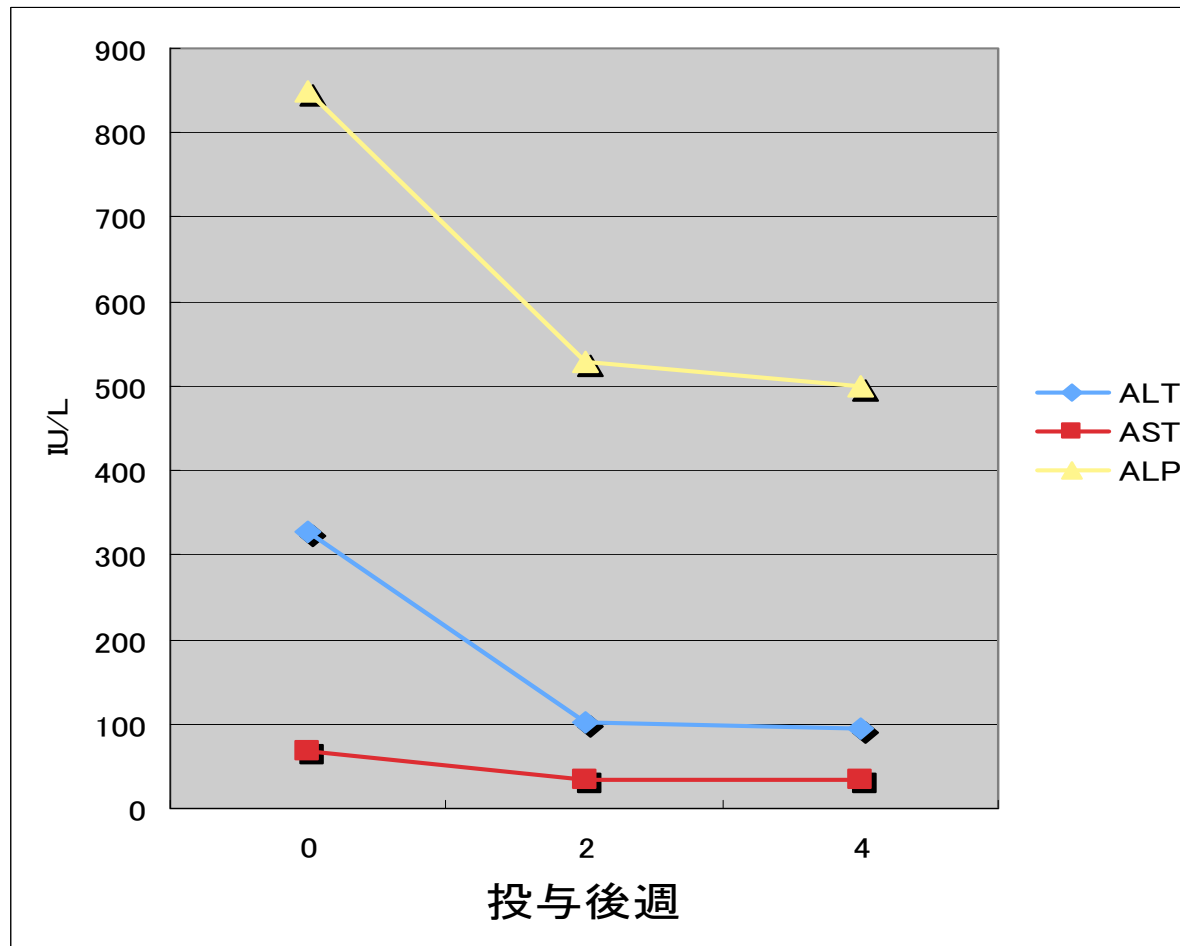
有効エキスを抽出した動物用サプリメントである「Nikasyou Herb」(フォーエルズ)を使用した。

投与量: 20mg/10kg

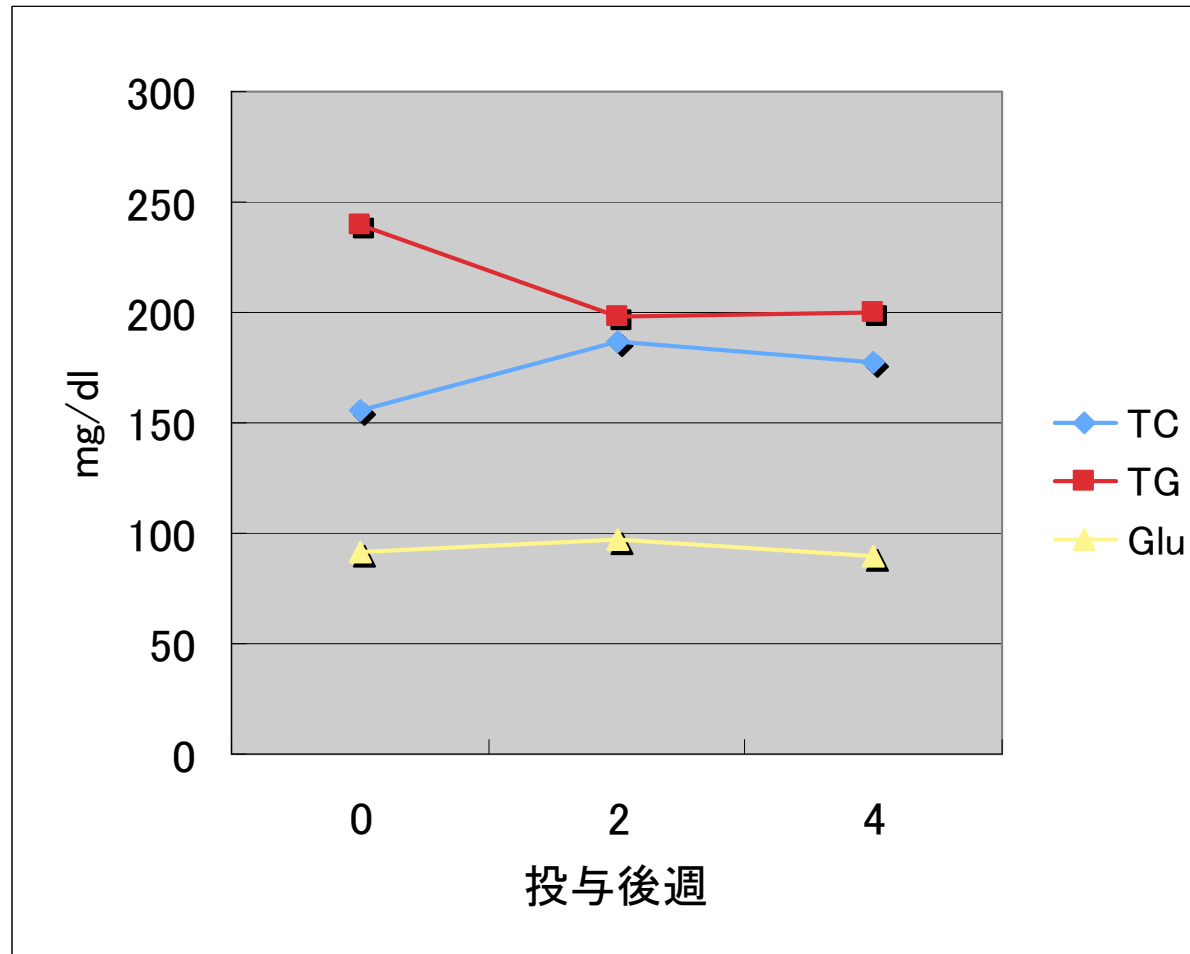
投与期間および検査項目

- ◆ 投与期間：4週間
一部の症例で長期投与による観察
- ◆ 検査日程：2週間後および4週間後
- ◆ 検査項目：ALT、AST、ALP、血糖値、総コレステロール、トリグリセライド

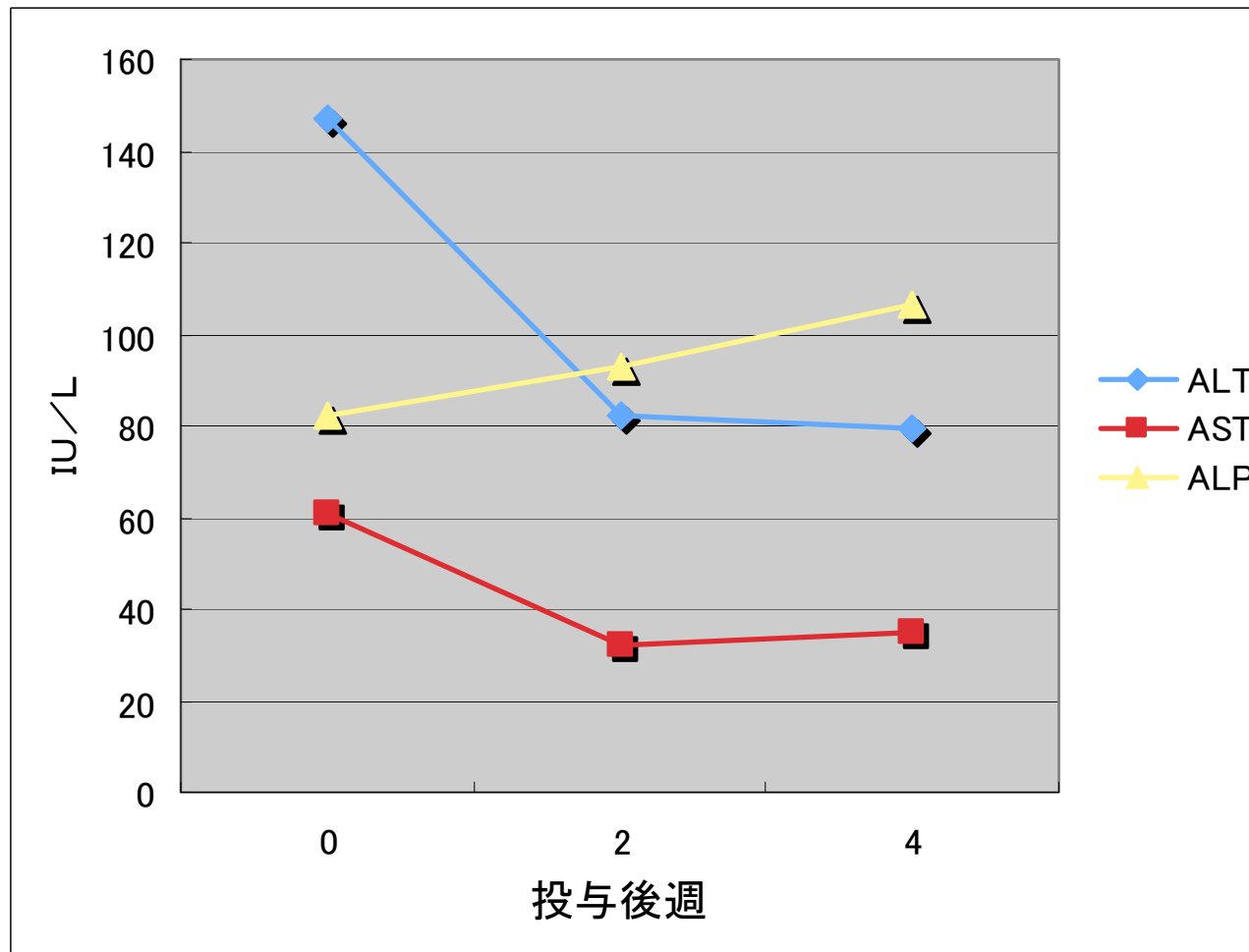
ニカショウ投与後の肝酵素変化(犬)



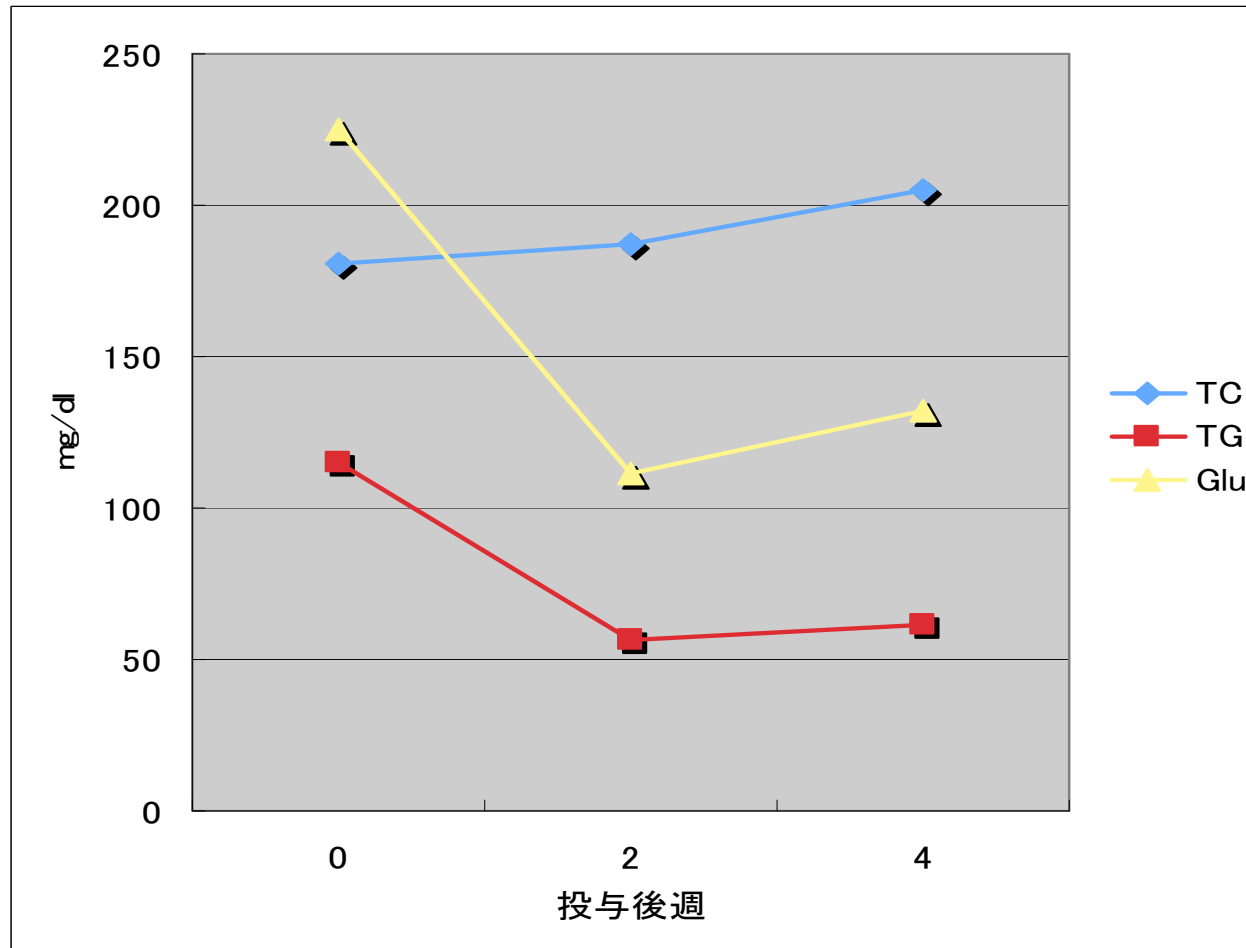
Glu、TC、TGの変化(犬)



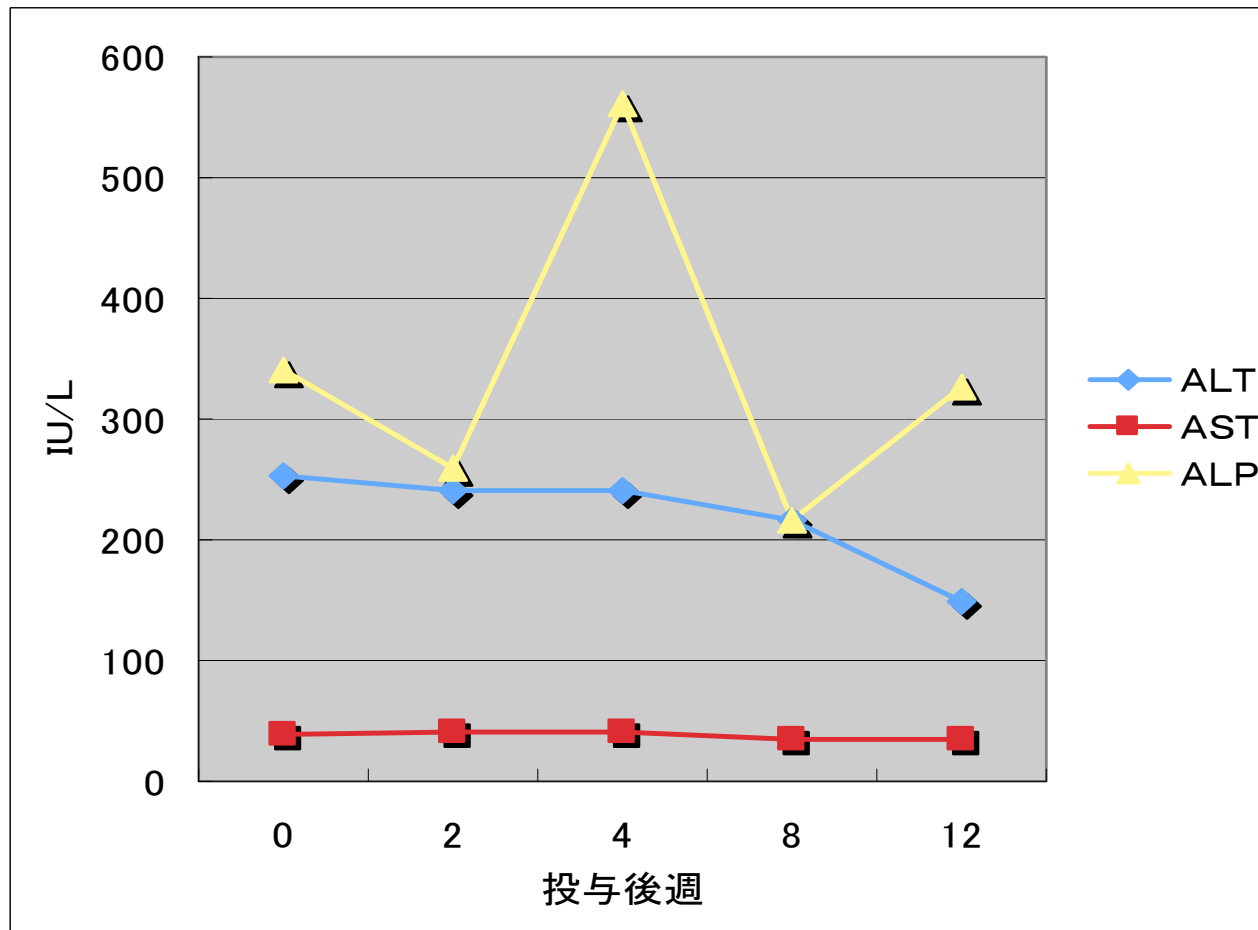
ニカショウ投与後の肝酵素の変化(猫)



Glu、TC、TGの変化(猫)



犬副腎皮質機能亢進症に対する効果



結語

犬猫においてALT、ASTの上昇している症例では、「Nikasyou Herb」が肝障害の軽減に有効と考えられた。